

総合的な学習の時間学習指導案

安芸太田町立筒賀中学校 丸山 智 (T1)
亀岡 圭太 (T2)
福田 祐子 (T3)

- 1 日 時 平成23年11月28日(月) 2校時(9:50~10:40)
- 2 学年・学級 第3学年 9名(男子2名 女子7名)
- 3 場 所 3年教室
- 4 指導形態 ティーム・ティーチング, ゲストティーチャー
- 5 単 元 名 筒賀の未来をソウゾウ(想像・創造)しよう
- 6 年間指導計画における本単元の位置付け

筒賀の未来をソウゾウしよう
(40時間)

自分の未来をソウゾウしよう
(30時間)

7 単元について

(1) 単元観

本単元は、ふるさと筒賀を豊かにする企画を提案する活動を探行的に行うことを通して、筒賀のよさや課題、地域の人々の思いを学び、主体的に課題を解決する方法や仲間と協同する姿勢を身につけ、地域への愛着を高め、自分自身の生き方を考えることができるようにすることを目標としている。

本単元では、自分たちが生まれ育った地域の現在や未来を考え、地域をより豊かにする企画を提案する学習を行う。行事や地域の活動を通して、地域とのつながりが強い生徒たちであるからこそ、卒業を前に自分が育った地域を見つめ直し、地域に貢献する企画を考える活動に対して、意欲も高まりやすく、積極的な活動が期待される素材である。

学習方法としては、地域の自然・文化を見つめなおすための体験学習、インターネット、書籍、パンフレット、インタビューなどを用いた多様な情報収集活動、グループの興味・関心に合わせた企画の発案、ゲストティーチャーを招いた発表・評価・改善、自己評価や来年度へのアドバイスを残す活動など、生徒が主体的に取り組むことができる多様な方法を計画している。

(2) 生徒観

本学級には、コツコツと学習を積み重ねることができる生徒が多く、各教科においても基礎的・基本的な内容を身に付けている。また、これまでの総合的な学習の時間では、1年時に藍染め体験、2年時は職場体験学習を通して、地域の自然や地域で働くことの意義について学び、協同して作業すること、調べる方法やまとめる技術を身につけるとともに、地域への愛着を高めてきた。

5月に行った総合的な学習の時間に関する意識調査では、次のような結果が得られた。

質 問 内 容	肯定	否定
・「総合的な学習の時間」の勉強は好きです。	8	1
・「総合的な学習の時間」の授業を楽しみにしています。	8	1
・「総合的な学習の時間」の授業で学んだことは、普段の生活や社会に出たときに役に立ちます。	8	1
・「総合的な学習の時間」の授業はよく分かります。	8	1
・地域や子ども会などの行事に参加しています。	8	1
・今、住んでいる地域の歴史や自然について関心があります。	7	2
・今、住んでいる地域の将来について関心があります。	7	2
・集めた情報を相手や目的に応じて、分かりやすくまとめ、表現しています。	2	7

・自分の考えを他人に説明したり、文章に書いたりすることができます。	4	5
-----------------------------------	---	---

これらの結果から、ほとんどの生徒が、総合的な学習の時間に対して意欲的であり、学習に価値を見出していることが分かる。また、子ども会やお祭りなどの地域の行事へ積極的に参加するなど、地域とのつながりが深く、地域に対する関心も高い。

一方、必要な情報を収集したり、必要に応じてまとめたりして、自分の考えを適切に表現することには苦手意識をもつ生徒が多いことが分かる。

また、2年生時の「基礎・基本」定着状況調査の通過率は、次のとおりであった。

国語	教科全体	聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	
	92.9	100	100	87.3	92.6	
数学	教科全体	数と式	図形	関数	資料の活用	
	86.0	93.7	76.2	83.3	72.2	
英語	教科全体	聞くこと	読むこと	書くこと	読むこと(実技)	読むこと(実技)
	89.6	95.1	86.4	82.5	100	95.6

各教科とも、基礎的・基本的な事項についてはかなり定着しているといえる。

一方、昨年度実施した全国学力・学習状況調査Bの類似問題の結果や、各教科等の定期考査の状況、授業での学習状況等からは、目的に応じて、資料(テキスト、図、表)を読み取り、それをもとに自分の考えをまとめ、適切に表現する力に課題があることがわかった。

(3) 指導観

生徒の地元に対する高い関心や学習に対する意欲を生かすため、できる限り生徒が主体となって活動できるようにしたい。具体的には、考えたい企画の方向性が似ている生徒同士でグループを組んで活動を進めていく。

また、他県から来られ、町観光協会で魅力的な町づくりに尽力されているGTを招く。そして、GTのアドバイスを生かして、企画を改善させるとともに、自分が育った地域を見つめ直し、地域に対する愛着をさらに高めさせたい。

意識調査等から明らかになった表現に対する苦手意識を払拭するため、まずは表現方法をしっかりと指導するとともに、学級での発表やGTを招いた発表会など、表現する多様な機会を設定して、表現することに慣れさせる。また、発表に対して切り返しの発問をしたり、生徒同士で質問し合う場を設定したりすることで、柔軟に受け答えできる力を身につけさせ、表現することに自信を持たせたい。

また、資料を的確に読み取らせるために、読みの視点をもたせるなど、必要な情報を選択しながら読み取れるよう指導・支援していく。そのために、あらゆる資料に触れさせる機会を多く与えるとともに、その資料を活用するための思考の時間を十分に保障するようにする。

単元全体を通して、少人数クラス、TT形式の授業の利点を生かし、きめ細かな指導を行う。ただ、生徒の主体性を生かすため、指示的な指導が多くならないよう配慮したい。

8 単元の概要

(1) 単元的目標

豊かな筒賀を創造する企画を考える学習を通して、地域の良さや課題、地域の発展に携わる人々の活動や思いを学び、主体的に課題を解決する方法や仲間と協同する姿勢を身に付け、地域への愛着を高め、自分自身の生き方を考えることができるようにする。

(2) 単元で育てようとする資質や能力及び態度

【学習方法に関すること】

ア 目的に応じた情報収集の方法を見付け出し、情報を適切に収集する。

イ 相手や目的に応じて、論理的にまとめ表現する。

【自分自身に関すること】

ウ 自らの行為に責任をもって意思決定する。

- エ 課題の解決に向けて、自ら計画を立て、実行する。
- オ 学んだことを生かして、自らの生き方について考える。

【他者や社会とのかかわりに関すること】

- カ 異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重する。
- キ 積極的に他者と協同して課題を解決する。
- ク 地域に自信や誇りをもち、参画する。

(3) 単元で学ぶ内容

- ア 地域の自然環境や伝統文化の特徴
- イ 地域の発展に携わる人々の思い
- ウ 地域を発展させる取組み

9 単元の評価規準

観点	学習方法	自分自身	他者や社会とのかかわり
単元 の 評 価 規 準	①情報を集める手段を選択し、 正確な情報を収集している。 【(2)－ア, (3)－ア・イ】 ②聞く相手を意識して、論理的 に発表している。 【(2)－イ, (3)－ウ】	①根拠をもとに、自らの意思で やるべきことを決定してい る。 【(2)－ウ, (3)－ア・イ】 ②活動の先を見越して、計画を 立て、行動している。 【(2)－エ, (3)－ア・イ】 ③身につけた知識や技能を授 業の中で生かしている。 【(2)－オ, (3)－ウ】	①他者や他のグループの異な る意見や考えを受け入れ、尊 重している。 【(2)－カ, (3)－ア・イ】 ②役割分担をし、他者と協同し て課題を解決している。 【(2)－キ, (3)－ウ】 ③筒賀に対する愛着・誇りを持 っている。 【(2)－ク, (3)－ウ】

10 指導と評価の計画（全40時間）

小単元名 (時数)	主な学習時間	評価規準及び主な評価方法	
想像 (15時間)	<p>○ガイダンスを行い、総合的な学習の時間の「ねらい」や「身に付けたい能力」等を知り、学習の見通しをもつ。</p> <p>課題の設定</p> <p>○筒賀の問題点を考え、筒賀を豊かにするための企画を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筒賀についての意見交流し、筒賀の現状を把握する。 ・田楽や田植えを通して、筒賀の自然や伝統文化のよさや地域の人の思いを知る。 ・他地域の取組について情報を収集する。 ・企画のコンセプトを決定する。 ・グループで筒賀を豊かにするための企画を考える。 ・全体に発表するための準備をする。 ・クラス内で企画を発表し、相互評価する。 	自①	<p>制作物による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート <p>行動観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表（発言） <p>相互評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価シート
収集 (15時間)	<p>情報の収集</p> <p>○企画に必要な情報を収集する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他グループからの評価・意見を参考にし、企画の問題点をまとめる。 ・企画を実現するための情報を収集する。 ・GTを招き企画会議を行う。 ・企画会議の内容をまとめ、情報を整理する。 ・実践できそうなものを実践する。 	学① 自②	<p>制作物による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート <p>行動観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表（発言）
分析 (5時間)	<p>整理・分析</p> <p>○集めた情報を分析し、整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで情報を整理する。 	他②	<p>制作物による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート <p>行動観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表（発言）
創造 (5時間)	<p>まとめ・表現</p> <p>○整理した情報を企画として全体に発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表の準備をする。 ・GTを含め、全体の場で活動の結果・企画を発表する。【本時】 	学② 他①	<p>制作物による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート <p>行動観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表（発言） <p>相互評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価シート
続 (5時間)	<p>学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画書を提出する。 ・GTに対してお礼の手紙を書く。 ・学習についてまとめ、感想を書く。 	自③ 他③	<p>制作物による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手紙 ・レポート ・感想

1.1 本時の展開

(1) 本時の目標

- 考えてきた企画を，相手意識をもち，結論と根拠が明確で，内容のつながりを意識した発表をする。
- 別のグループの発表を聞き，自分たちの企画を振り返ったり，自分たちの生活とつなげて考えたりする。

(2) 観点別評価規準

- 考えてきた企画を，相手意識をもち，結論と根拠が明確で，内容のつながりを意識した発表をしている。
- 別のグループの発表を聞き，自分たちの企画を振り返ったり，自分たちの生活とつなげて考えたりしている。

(3) 準備物

評価シート（自己評価，授業の感想），デジタルカメラ，テレビ（プロジェクター，スクリーン）

(4) 学習展開

	学 習 活 動	◇指導上の留意点 (◆個別の指導の手立て)	評価規準【評価方法】
導 入	1. 本時のめあてと学習の流れを把握する	◇これまでのまとめの発表であることを確認する。	
	○本時の活動の見通しを持つ	◇本時の活動の流れを確認させる。 ◇感想を書く視点を示した上で，発表を聞かせる。 ・発表の内容 ・発表から学んだこと ・筒賀への思い	
展 開	2. グループ発表をおこなう ①グループ1が発表する	◇発表者の支援（T1） ・発表の仕方を指導する。 ・視聴覚機器の使い方を支援する。 ◇視聴者の支援（T2・T3） ・傾聴の姿勢を意識させる ・自分たちの生活とのつながりを意識させる。	・考えてきた企画を，相手意識をもち，結論と根拠が明確で，内容のつながりを意識した発表をしている。 【行動観察，ワークシート（発表資料）】 ・別のグループの発表を聞き，自分たちの企画を振り返ったり，自分たちの生活とつなげて考えたりしている。 【ワークシート】
	②グループ2，3も同様に発表する		
ま と め	3. 本時の学習を振り返 ①GTからの講評を聞く	◇視聴者の支援（T2・T3） ・傾聴の姿勢を意識させる	
	②自己評価を行い，感想を書く	◇他のグループから学んだことを見つけさせる。 ◆感想を書く視点を確認する。	

○考えてきた企画を，相手意識を持って，内容のつながりを意識して発表しよう。
○別のグループの発表を理解し，筒賀への思いを感じながら傾聴の姿勢で聞こう。